

2017年度
関西学院大学ロースクール
B日程

一般入試（法学既修者）
特別入試（夜間社会人）

民法問題

《9:30～11:30》

○開始の指示があるまで内容を見てはいけません。

【民法問題】

次の文章を読んで、〔設問1〕および〔設問2〕に答えなさい。

Aは、ショッピング目的で神戸の繁華街をぶらぶら歩いていた際に、たまたま立ち寄った雑貨屋で、アンティークの高級腕時計（以下、甲とする）を見つけた。値段は15万円となっている。雑貨屋店主Bに甲について聞くと、1950年代に製造されたもので、ベルト部分を交換しなければならないため値段は抑えているが状態はよく、おすすめの商品であるとの説明であった。甲を一目で気に入ったAは、是非購入したいと思ったが、その場に15万円も持ち合わせていなかったため、Bに対して、今日はとりあえず1万円を支払うこととし残金については2週間以内に持参するので甲を売ってくれないか相談した。Bはこれを了承し、売買契約が締結された。この際、残代金全額の支払いと引換えに甲を引き渡すとの特約が付された。Aはその場で1万円を支払い帰宅した。1週間後、AはBに電話し、残金を用意したので明日夕方に持参する旨を伝えた。翌日、残金14万円を持参してBの店に行くと、Bは、先ほどCが代金20万円で甲の購入を申し出て代金もその場で支払うということだったのでCに売却した、したがって、Aには引き渡すことができないという。

〔設問1〕

Aは、Bに対してどのような主張ができるか、Bの反論も踏まえて検討しなさい。

〔設問2〕

AがCに対して甲の引渡しを請求した場合、Cはどのような反論が可能か、反論を複数挙げた上でその可否を検討しなさい。甲がCに現実に引き渡された場合と、引き渡されていない場合の双方の場合において検討しなさい。

2017年度入試 B日程本問題 出題趣旨および解説

出題趣旨

売買契約における手付けの知識を問うとともに、動産に関する物権変動に関する民法上の諸制度の構造が理解できているかを問う問題。とくに、176条および178条、192条に関する基本的知識が習得できているかが問われる。

解説

〔設問1〕は、売買契約における手付けの解釈と履行の着手（557条）の理解を問う問題である。557条は、手付けが交付され、当事者の合意から、解約手付け、証約手付け、違約手付けのいずれであるかが明確でない場合には、解約手付けと推定している点を理解した上で、履行の着手があれば解除できない点を事案から読み取れるかが問われる。

〔設問2〕は、所有権の移転時期、動産物権変動の対抗要件、即時取得制度の理解を問う問題である。176条により、原則として売買契約時に所有権が移転すること、動産物権変動について178条は「引渡し」を対抗要件としているが、この「引渡し」に占有改定が含まれるのか、そして192条の即時取得についても「占有の開始」に占有改定が含まれるのか、といった点を正確に論じられるかが問われる。